

「たい肥」の販売をはじめます!

「有機たい肥

ゆうきくん



イメージキャラクター
ゆうきくん

～鮫川村の大地が育む安心・安全でおいしい野菜をみなさまの食卓へ～

「食」は、私たちの生命の源であり、人が生きていくために一生を通して欠かすことのできないかけがえのないものです。私たちは、農業を通じ、大地から農産物の恵みを受けて命を与えられています。

私たちがいつまでも健康で心豊かに暮らせるためには、「食」にこだわり、食材を作る「土づくり」にこだわり、農薬・化学肥料に頼らない、安全で環境に優しい有機農業の推進が必要と考えています。

この度、バイオマス変換施設 鮫川村豊かな土づくり

センター「ゆうきの郷土」では、鮫川村の牛ふん、豚ふん、落ち葉、もみがら等を利用した、良質のたい肥が出来あがり、下記のとおり販売しますのでご利用ください。

また、これを機に、たい肥を使用した農産物のブランド化や農業の6次産業化の推進を図っていきます。

村を挙げて循環型社会(農業)の確立を目指すため、生産者、消費者、すべての村民が「食」と「農」の大切さに理解を深め、本村の農業を魅力ある産業に育てていきましょう。

料金 オープニング特別価格 たい肥料金30%OFF! (村民に限る) 平成26年5月30日まで

バラ堆肥	センター渡し(自車にて受取り) ●1回あたりの販売数量は概ね0.5トン以上	村民……………3,150円/ t 村外の方……………4,500円/ t
	圃場渡し(配達のみ) ※2 ●ただし、配達はセンターより概ね15km圏内まで	村民……………3,500円/ t 村外の方……………5,000円/ t
	堆肥散布を申し受けます ※3 ●散布は、村民のみに限定します。	散布料金 10aあたり……………1,500円
袋詰め堆肥	1袋の容量量:40リットル	400円/袋

※1 堆肥料金について本来は、4,500円/t(配達なし)、5,000円/t(配達あり)で設定しました。また料金は、消費税込の金額となっています。

※2 配達は、申込みが1tから承ります。

※3 散布申込みの下限面積を1圃場あたり5aとし、依頼面積が20a以上の場合に行います。また、10aあたり2t散布しても1,500円となります。

問い合わせ先(販売所)

鮫川村豊かな土づくりセンター

ゆうきの郷土

〒963-8406 鮫川村大字富田字八斗蒔 76 番地 2

TEL. 0247-49-3474 FAX. 0247-49-3475

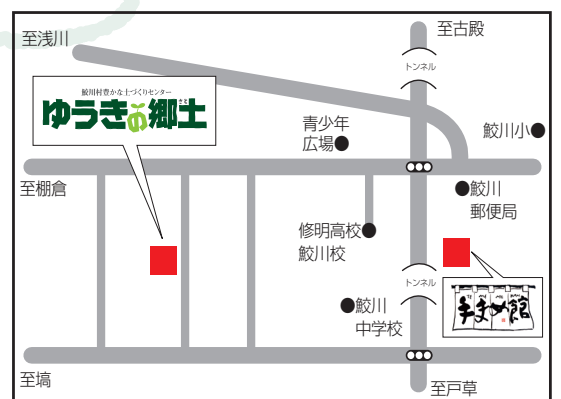
営業時間 9:00~16:00 休業日 土曜日及び日曜日、国民の祝日、12/29~1/3までの日



TEL. 0247-49-2556 FAX. 0247-49-2445

営業時間 9:00~18:00 休業日 毎月第1水曜日、1/1及び1/2の日

963-8401 東白川郡鮫川村大字赤坂中野字巡ヶ作 116 番地



「有機たい肥

ゆうきくん」

の効果

イメージキャラクター
ゆうきくん



このたい肥は、作物の食味(うまみ)をあげる微量元素(ミネラル分)が豊富に含まれています。牛ふん・豚ふん・もみがら・落ち葉等を原料にローダーを利用した堆積発酵で、地元に残みついている有用微生物の力をいかし、約150日かけてじっくり発酵させたため、雑菌や雑草の種の心配がありません。

また、放射性物質の検査の結果、すべて国が定める基準値以下の数値となっています。

※村では、本来400ベクレルの基準値を厳格化し、村独自で200ベクレルに定めそれ以下のものを販売しています。

(10aあたり)

作物名	施用量(単位:t)
水稲	0.5~1.0
大豆・小豆・そば麦	1.0~2.0
きゅうり・トマト・ピーマン・ホウレン草	2.0~3.0
ネギ・スイートコーン・根菜類	1.0~3.0
花卉・葉たばこ・飼料作物	2.0~5.0

成分	分析値(現物)
窒素	0.82%
りん酸	1.34%
カリ	1.47%

◆使用方法◆

①鉢、プランター

5号鉢(直径15cm)に約1カップ(200ml)を土と混ぜ合わせてご使用ください。長さ65cmのプランターには約1ℓ使用してください。他の用土との混合は、用土10ℓに対し1ℓをよく混ぜ合わせてください。

②庭、花壇、菜園に

1㎡あたり5~8ℓ程度散布し、土とよく混ぜ合わせてください。溝肥の場合は、1株当たり1カップ位使用してください。※繊細な種や苗の時期に使用する際は、たい肥の量を間違えてしまうと、窒素成分に負けてしまうので、使いすぎには注意しましょう。

◆たい肥の特長◆

1. おだやかにゆっくりと成長させます。

たい肥には窒素成分が0.82%含まれています。窒素の効く率は20~30%(2キ口程度)で作物にやさしく穏やかに効いていきます。窒素が少ないため、肥料としてではなく、土づくりをするための土壌改良効果が高いたい肥です。

2. 微量元素が豊富です

土の中の微量元素(自然のミネラル)が欠乏していると品質の良いものはできません。たい肥は、微量元素が豊富なので美味しい作物を作ることができます。

3. 完熟たい肥だから安心

未熟たい肥は土の中でもう一度発酵を始め、発酵ガスや熱により根を焼いてしまいます。約5ヶ月発酵させたたい肥は完熟し、高温発酵により雑菌や雑草の種は死滅しています。

4. 多量の有用微生物のはたらきによって土をやわらかくします

このたい肥には、地元に残る有用微生物がたくさん含まれています。また、炭素(有機物)が多いため、水はけや水もちを良くし、保肥力向上の効果が高いたい肥です。

5. PH調整

たい肥のPHは、8.5のアルカリ性です。強酸性になった土を、作物が好む弱酸性に直してくれます。

代表者の氏名 鮫川村長 大樂 勝弘

住 所 〒963-8401
鮫川村大字赤坂中野字新宿39番地5

生産事業所の名称 鮫川村豊かな土づくりセンター「ゆうきの郷土」

所 在 地 〒963-8406
鮫川村大字富田字八斗蒔76番地2

肥料の名称 有機たい肥「ゆうきくん」

肥料の原料及び
その混合割合 牛ふん・豚ふん70%
もみ殻、稲わら、落ち葉30%

生産または
処理の工程図 ① 切り返し方法:ホイルローダーによる堆積発酵
② フロー

1次発酵
約25日

2次発酵
約75日

乾燥調整
約20日

養生
約30日

約150日間で完成

外 観 ・ 性 状 黒褐色・細粒(他 褐色・中粒等)

生 産 量 年間約1000t

主 な 出 荷 先 村内・外の農家

品 質 管 理 堆肥化施設 製品保管棟に保管
(保管施設・成分分析の実施等) 原料について:建築廃材を含まない

鮫川村豊かな土づくりセンター

ゆうきの郷土